

第 1 回学校運営協議会記録

日時 令和 6 年 6 月 24 日(月) 10:00～

場所 札幌聾学校 多目的室

【委員】

氏 名	役 職	出欠状況
渥 美 建 治	北区北地区民生委員・児童委員協議会副会長	出席
小 泉 詔 信	北 24 条商店街振興組合理事長	出席
杉 本 五 郎	北海道札幌聾学校同窓会会長	欠席
只 石 亜由美	北海道札幌聾学校 PTA 会長	出席
渋谷 雄 幸	公益社団法人札幌聴覚障害者協会理事長	出席
高 野 賢 一	札幌医科大学医学部教授	欠席
船 山 大 介	放課後デイサービスふくろう管理者	出席
佐 藤 信太郎	北海道警察札幌方面北警察署生活安全課長	欠席
佐 賀 聡	北海道札幌北高等学校長	欠席
四 木 定 宏	北海道札幌聾学校	出席

【学校経営方針についての意見】

- ・聴覚障がいがある子どもたちの教育には、社会生活の環境として自由に手話を使える集団環境が必要である。
- ・町内のゴミ拾いの日時を事前に教えてもらえれば、札幌聴覚障害者協会の老人クラブ等と呼び掛けることもできる。児童生徒と聴覚障がいのある成人との交流もあると良い。また、当協会でも様々イベントを行っている。是非、児童生徒には親御さんと一緒に参加してもらい、もっと当協会と交流を深めてほしい。
- ・地域とのコミュニケーションは熱心に行いたい。学校前の通りに一緒に花を植えて環境美化を整備するなど楽しみにしている。協力できることは地域として関わっていききたい。
- ・学校目標にもあるお互いに認め合うという言葉には、共感する。地域の中でも、挨拶をしっかりとできる子どもたちを育てていきたい。校外清掃などの取組を続け地域の中の交流を積極的にやっていくことで、子ども・教員だけでなく、地域も幸せを感じることができる。
- ・先生方が一生懸命に子どもたちのために仕事をしている姿や思いに感謝している。今後も期待して見守っていききたい。

【参観を通しての感想】

- ・幼稚部の子どもたちの表情が明るくてよかった。全体の雰囲気としても、明るく真剣に学びに取り組んでいる姿だった。子どもたちと先生方のコミュニケーションはスムーズに取れていた。
- ・明るくのびのびしていて自由な雰囲気が伝わった。また、iPad など ICT も活用して学びを深めている様子もうかがえた。
- ・各学部の学習の様子から、子どもたちの元気そうな姿が見られた。
- ・授業を見て子どもたちは明るく元気だと思った。この地域の小学校は地域内の公園等で写生会を行っている。是非、地域資源を活用した写生会なども検討してもらいたい。
- ・他の委員の方から、子どもと先生がコミュニケーションをしっかりとっていたという話を聞くと親の立場としてうれしく思う。先生方は本当に頑張っていると思うのでこれからも応援したいと思う。